

未来社会創造事業 探索加速型探索研究

事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

味覚・嗅覚・食感イノベーションによる食サービスの創出

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

都甲 潔（九州大学 五感応用デバイス研究開発センター 特任教授）

5. 評価結果

本課題の探索研究期間において、当初の目標として設定した個人の食嗜好の予測技術の開発に成功し、このコア技術をもとに食サービスの創出に向けて、異分野の研究者や研究成果を引き取る民間企業など多彩なメンバーを参画機関として引き込み、体制構築を精力的に行ったことは高く評価する。また、世の為、人の為に本課題がどのような新しい価値を提供しているのかについて、食嗜好のデジタル化という新たな価値により食マーケットへ大きく貢献できることを明らかにした。モノの食データとヒトの感性データを組み合わせることで個人の食嗜好を予測する技術は、世界でも先行的な試みであり、現時点で大きな競争力を有する成果であることを示した。合わせて、成果に基づく 5 件の特許出願により積極的な知的財産の形成を行った他、13 編の論文発表や各種学会での口頭／ポスター発表を多数行うなどの成果の発信に努め、更に、国内外の動向把握も着実に行われた。

以上のような探索研究期間での研究開発によって当初の計画を上回る顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

以上